

市民の声

古来からの

地名を尊重したい

先ごろ広報に「大桶」に用いられている「桶」の文字が、当用漢字に出ていなくて、他府県からの手紙にも誤字が多いので、誰が読んでも分かりやすい地名にすべきではとご意見が出ていた。

私も今年

「大桶」は変更すべきか

「大桶」については「難しいので変えた方がいい」「由緒ある地名なので消すのはおしい」という二種類の意見があることは承知しています。

住居表示を

市役所として、住居表示を実施するという前提で、今後とも地元の方のご意見をお聞きして、参考にしたと考えています。今の段階では、「大桶」を残すか消すかの論議はしていません。

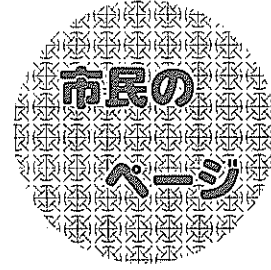
市役所より 地元の意見を聞いて



走り初めをする金堂元市長 (中央)

戦後の日本は、敗戦の痛手と連合軍の占領政策による各種の制度が矢継ぎ早に実施されたため、大混乱になりました。特に食糧難解決に頭を痛めました。

頌徳碑を建立し、また金堂さんのことを記録した冊子を作ることになりました。頌徳碑の方は着々と進み、来る十月二十一日に除幕の運びとなっていますが、冊子の方はやっと編集委員会ができたところです。



このページは市民の皆さんが作るページです。どんなことでも結構です。お気軽に皆さんの「声」をお寄せください。

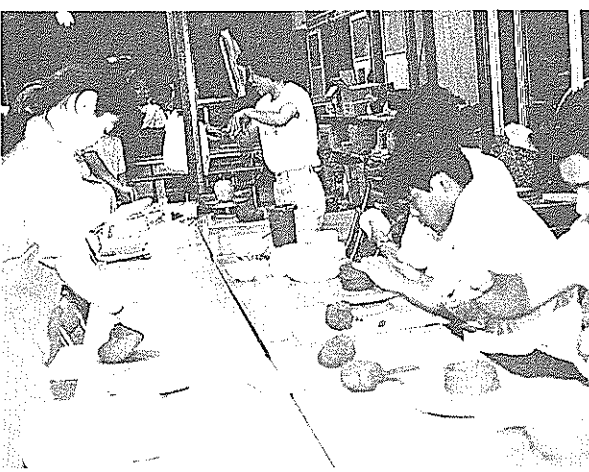
元市長 金堂久喜さんをしのぶ 写真、原稿募集

この度、金堂さんの偉業を後世に伝えるため、浄財を募って

①写真 日時、場所、何をしていたのの写真を明記し、そのときの思い出なども添えてください。

われら サークル仲間 いたずらな 火の神様に感謝

中央公民館には二教室十一サークルがあり、文化祭への参加など、いろいろな活動が行われています。年齢、職業はさまざま



陶芸サークルは、昭和五十六年にやきもの教室として開講。今年四月からサークルとして、装いも新たに出版しました。

古いから上手で、新しいから下手というものではなく、土や火の神様のおぼしめして、良くもなり



さまですが、それぞれサークル仲間の輪が広がって、毎回楽しく受講している皆さん。今回は陶芸サークルを紹介しします。

悪くもなるというの、何と

みんなでワイワイ、ガヤガヤと、週一回木曜日の夜七時から無心に造形。どうも落ち着かない、いらいらして気分がさっぱりしないときは、作品にもろに影響が出てきます。時間内に仕上がるなければ、自宅へ持って帰ることもあります。

素焼き、絵付け、釉掛けなどの工程を経て、いよいよ本焼き。一千二百度で焼かれた作品の、思いがけない色彩に満足したり、がっかりしたり、悲喜こももこのひととき。すべて神様のいたずらか、おぼしめしによって

♪ 歌は友達、友は歌好き

野田歌謡クラブ



野田歌謡クラブは、結成以来約五年になりました。最初は皆さん固くなり、恥ずかしそうに歌っていましたが、最近では表情も豊かになり、おなかから声

「希望の方には指導もいたします。皆さんもぜひ「野田歌謡クラブ」で歌ってみませんか。

左右されるのも面白いものです。「よし、この次は」と意気込んでみても、またものもくあみということも。ともかく気長に取り組むのがコツです。

スルする人物！、忘年会ばかりを期待しているこにもいるとか。ともかく触れ合いを大切に、土に親しみ、火の神様に感謝し、ぼけ防止のお年寄りから若者までが集って、活動が続けられています。



(東村達夫・立田)